

地域医療連携センターニュース

ご挨拶 ～産婦人科に赴任して～

産婦人科科長 飯野好明



平成31年3月より公立阿伎留医療センター産婦人科長として着任した飯野好明(いのよしあき)と申します。専門は生殖医療・内分泌で日本生殖医学会生殖医療専門医です。

私は、体外受精の分野では創成期から携わり、大分県、埼玉県の“試験管ベビー第一号”の誕生に関与してきました。また不妊症における腹腔鏡手術では、3大学2総合病院2個人病院にて研鑽を積んで参りました。残念ながら当科では、体外受精等の生殖補助医療は今現在できませんが、今後は人工授精、体外受精はもとより、腹腔鏡手術、子宮鏡・卵管鏡手術、男性不妊治療などの生殖医療における必要なすべてのサービスを徐々に開始したいと思っています。現状は、不妊治療中の卵巣過剰刺激症候群など、生殖医療に関する入院管理が必要な疾患には対応しますのでご相談ください。

また産科でも、井上産科部長のご指導のもと、助産師による産科外来を行います。妊婦患者様の妊娠・分娩におけるさまざまな想いは日々多角化、高品質化しており、それに答えるべく当院の産科を含め日本の各産科病院のクオリティは世界に誇れるレベルに達していますが、それに驕れることなくさらなる理想的な産科管理を追求し、医師の産科外来とは角度をかえた助産師による産科外来をめざしています。担当は数十年間産科外来を行ってきた助産師が4D超音波検査も含めて行いますのでご利用、ご紹介いただければ幸いです。

まだまだ現実化するには時間を頂かねばならないことばかりですが、私は、周辺の医療機関様との親密な連携をもって、そのうえで秋川地域の皆様が安心して、信頼を寄せてご利用できる敷居の低い医療機関として診療を行う所存です。どうか今後ともよろしく願いいたします。